

道理のない

高校つぶし 反対!

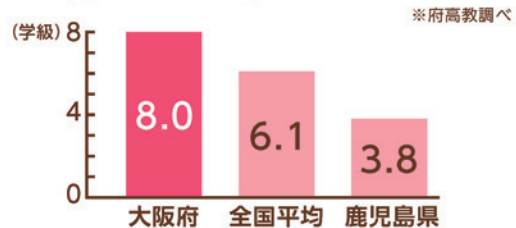
「学ぶ権利」を
奪わないで!

大阪府教育委員会は8月30日、2019年度～23年度の「再編整備計画」案を発表し、11月に決定するとしていました。その内容は、今後5年で新たに「府立高校・大阪市立高校あわせて8校程度」を廃校にするというものです。

しかし、大阪では中卒生の数は9年前から減っており、今後も5千人程度減少して下げ止まると推計され、高校をつぶす必要はありません。

大阪の公立高校の学級定員は「40人」に据え置かれ、1学年のクラス数も平均「8クラス」と全国平均の「6クラス」を大きく上回る詰め込み状態です。「少子化」をチャンスに、他都道府県で進んでいる「35人学級」や学校規模の縮小など、教育条件の改善こそ行うべきです。せっかく生まれているチャンスを自らつぶす「8校廃校」案は撤回すべきです。

公立高校(全日制)1学年あたりのクラス数



あなたも署名にご協力下さい!

「大阪の高校を守る会」の署名用紙は、府高教のホームページ <http://www.fukokyo.org/> からダウンロードできます。

35人学級の実現を
「府立・市立8校廃校」案を撤回し、

勝山高校と桃谷高校IⅡ部の 統廃合は見直して下さい

地域の学校、多様な教育をつぶさないで!

今年度の「実施対象校」案として、大阪市生野区の府立勝山高校と府立桃谷高校の多部制単位制IⅡ部を2020年度から募集停止し、勝山高校の校地で多部制単位制IⅡ部の新校を開設、現在、過密となっている桃谷高校は通信制を拡充する計画も示されました。

しかし、勝山高校の校地で桃谷高校と同等の多部制単位制IⅡ部を開設することは、さまざまな点から困難です。教育条件の低下で、多様な生徒に丁寧に対応してきたこれまでの教育に支障が出ることは明らかです。また、普通科の勝山高校は地元の生徒が多く、学校教育自己診断でも高い満足度を得ており、なくしてしまえば、地域の子どもの「行き場」が奪われます。勝山・桃谷の統廃合計画は抜本的に見直すべきです。

工科高校では 35人学級が実現!

一方で「再編整備計画」は、府内に9つある工科高校は「35人学級」「1学年6クラス」にする方針を示しました。「一層きめ細かな指導を行う」というなら普通科も含めてすべての学校で実施すべきです。